



「生きがい・ふれあい・助け合い」

大山の人口（3月末）

男	623人
女	660人
計	1283人

大山郷づくり情報

第 36 号 令和8年4月20日発行

発行者 大山郷づくり協議会

事務所 大山新80番地（大山ファミリーの郷）

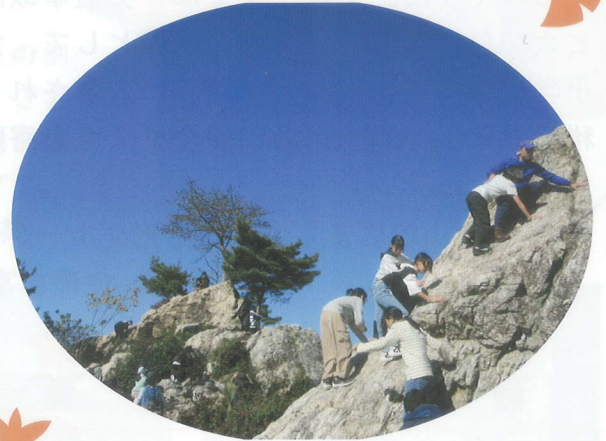
電話:506-7161 FAX:506-7103

メール: oyama-sasayama@gaia.eonet.ne.jp

HPアドレス: https://oyama-sasayama.info

ふるさとウォーク金山登山

令和7年11月16日



城郭研究家 高橋成計さん（中央）



絶好の登山日和に恵まれ、大山ふるさとウォーク「金山登山」を開催、市内外の子供から大人まで総勢約70名の方々に参加いただきました。

本年度初めての試みとして、丹波篠山・山城ネットワークとの連携企画で取り組み、城郭研究家の高橋成計氏と大山振興会理事長の伊勢隆雄氏に同行いただき、金山城の魅力である「敵の侵入を防ぐための山の上から下に伸びる竖堀」、「山頂から見える八上城跡と丹波市の黒井城跡」「八上城と黒井城を分断させるために明智光秀が金山城」を築いた歴史等説明頂き、山頂からの絶景を楽しみました。

大山の歴史資産である金山城跡、次世代伝えるためにも今年も実施したいと思います。

（元気な地域づくり部会長 中澤久幸）

安全タスキを寄贈

令和7年12月8日

大山の国道176号線には約12,000台/日の車が行き来しており、年に数回は交通事故が発生しています。

特に冬場の日が短い時間帯における歩行者や自転車の安全性を高めるため、大山校区まちづくり防犯グループでは「交通事故防止と大切な命を守る」活動の一環として、大山小学校の生徒55名と令和8年に入学される幼稚園児9名、合計64名に安全タスキを寄贈いたしました。

(大山校区まちづくり防犯グループ
会長 中澤吉富)



長さが調整できる反射メッシュタスキ

地域みらい教室開催

令和7年11月22日



昭和の大合併により大山村が近隣の3カ村と合併し丹南町が誕生してから、今年で70年が経ちました。さらに平成の大合併により行政区画は広域化・巨大化になり、それにより自分たちの地域のまちづくりは自分たちでという傾向となり、言わばその地域の力が試される時代になっています。大山では郷づくり協議会を中心とし、この地域の活性化に様々な活動をしてまいりましたが、少子高齢化により地域固有の祭り、伝統芸能、工芸が存続危機に瀕しています。

そこで今年度は、前兵庫県議会議員で議長を務められ、地域のまちづくりに詳しい小西隆紀さんに「郷(まち)づくりは人づくり」をテーマにお話を頂きました。子どもから大人までが学び合い、地域課題を解決する力を養う「共育(共に育つ)」体制が重要。新しい情報や変化をもたらす移住者、来訪者と地域に根を下ろし伝統や生活を守る土着民が協働するまちづくりが大事であるといった話を聞きました。



大山村の時代には「結いの精神」「趣法の精神」の基、みんなで知恵や力を出し合いこの地を守ってこられました。今こそ眠りかけたこの精神を甦らし、みんなで大山のみらいの為に考え行動することが、今この地で生きる私たちの責任であると感じました。

(地域産業・振興部会長 上田幸孝)